

県本部・活動拠点本部会議(8月14日・夕)議事要旨

■決まったこと、全体への連絡事項

- 宇城：避難者への「住まい」に関するアンケートを実施する。
- 氷川町では9月1日より学校再開の通知あり
- 施設間応援については、施設ニーズを慎重に整理することも検討する。
- 厚生労働省より通知：被災した福祉施設が避難者を受け入れているか否かにかかわらず、受け入れ体制を整えているとみなすことで「福祉避難所」として認定可能。応援派遣される介護職員の交通費・宿泊費等の人件費周辺費用が災害救助法の対象（被災施設の費用負担なし）となり、人手不足に悩む被災施設への支援体制が大幅に強化された。

■各拠点からの報告 ※特記事項

● 八代地域

- なんでも相談窓口を設置（13件、1件は薬剤師につなぐ）
- 避難所支援チームは、コミセンをまわりながら個別ケースの支援。
- 避難所⑥：ジャパンハートから第二包括に情報を戻している。第二包括から依頼があれば、DWAが動く形にしている。
- 八代支援学校（38）が閉鎖の方向。千丁コミュニティセンターに移る。鏡小にこどもの居場所づくり支援を入れることを検討中。
- 希望の里たいよう：避難者8名⇒6名（4名＋付2名）になり、この後、第四中学の85歳男性（含む家族3名）が移ってくる。（熊本DWAT、福岡DWATが待機）

● 宇城地域

- 松橋東防災：救急搬送あり（1名）。
- ウイング松橋：明日閉鎖。7名自宅、8名は不知体育館へ移動（うち1名が入院）。
- 小川：こどもの声が気になるとの意見に対し、空き教室を解放しNPOが支援。
- 宇土アリーナ：包括が9名を繋いでいる。残り2名は巡回支援。
- 市からの指示で、今後すべての避難所で避難者への「住まい」に関するアンケートを実施。

● 氷川地域

- 行政連絡：9月1日に避難所としている学校の再開が決定し退所調整の話があった。詳細は不明。福祉避難所の閉鎖時期もはっきりしていない。現状、一般避難所から福祉避難所への移行支援をストップし、退所調整と避難所受入れのアセスメントを中心に活動することとしている。
- 氷川中学校にも常駐する（高知県）。龍北東小の巡回は継続。日赤を通して家屋の状況に関する情報提供の依頼があった。

- 明日、氷川町の災害 VC に、要配慮者の家の片づけを優先してもらえないか打診する予定。（長野県DWAT、高知県DWAT）
- 氷川町に資源がない。特に食べ物が不足している。熊本市内も含めてショートステイの案内もしているが、介護度や限度額の問題で進んでいない。
- みやはら：介護福祉士会・外部団体で継続支援。

■確認事項・共有事項

- 八代地域の現地調整会議にて、自費で福祉用具等を設置し、被災者に費用を請求して貸し出している事業者（赤シャツ・金髪の人物等）の情報あり。

■今後検討が必要な事項

1. 氷川町での災害 VC との連携

→明日、氷川町災害 VC と要配慮者の家の片づけを優先できないかの調整予定（長野県 DWAT、高知県 DWAT が社協担当者と打ち合わせ。）

2. 氷川町の学校再開（9 月 1 日）に向けた対応

→9 月 1 日の学校再開を見据え、氷川町をはじめ各地区での避難者に対する家屋状況・生活課題のアセスメントを最優先で実施する。